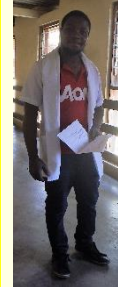


マラウイ안의制服 - 病院編 -

Zikomo通信8でマラウイ안의服装や制服について書きましたが、今回は私の配属先の病院スタッフの制服についてです。

日本では看護師、助産師の資格は別ですが、ここマラウイでは助産師という特別な資格はなく、看護師の資格で助産師業務が行えます。さすがは出生率の高い国。とにかく出産が多いので人手が足りていません。

医師



私服の上に**白衣**を羽織っています。日本の医師よりラフな格好をしている人が多いです。医師以外にも、調理師、薬剤師、その他病院スタッフが白衣を着ているので **白衣 ≠ 医師** です。ちなみに、白衣もオーダーメイドです。

看護学生

学生の実習着は基本白色。肩とナースキャップに学年によって色分けされた印を付けています。写真は専門学生。大学の学生も白色の制服ですが、学年を示す印は付けておらず、名札を首からかけています。



(専門)学生はカラーラインの入ったナースキャップを着用します。肩のしるしと同様、学年によって色が違います。大学の学生はナースキャップはないとのこと。



肩の印(学生)

専門学生が肩に付けています。色は学年を表しています。
1学年 黄
2学年 紫
3学年 赤

看護師



看護師の制服は**白か紺色**です。男性はほぼ紺です。**緑色の服**を着ているのはパブリックヘルスナース(保健師のような資格を持った看護師)です。制服は、布が病院から支給され、自分でテーラーに仕立てを依頼します。デザインは統一されているのですが、各々好きなデザインのものを着ています。靴は基本黒です。名札はほぼ付けていません。



ナースキャップ

日本では衛生面の理由からほとんどの医療現場で廃止されましたが、マラウイではまだ現役です。レースをラミネートのようなビニール素材でコーティングしたものを買って着けています。(手作り、スタッフの中にも作って売っている人がいます)



肩の印

これは学歴を示しています。大学を卒業し、学士を持っていれば**緑**、専門学校卒業であれば**赤**です。マラウイでは学歴はとても重視され、昇進や給料に大きく関与します。

家の畑 私の庭の畑もメイズの収穫時期になりました。庭の半分のメイズが育たなかったので、写真の畑の右側でサツマイモにも挑戦中です!



日本ではゴールデンウィーク中ですね。旅行に出かけている人も多いのでしょうか。私は先月のイースター休暇と学校の長期休みに合わせ、任国外旅行をしてきました。次号で訪れた国を紹介したいと思います。Zikomo!! Yewo!! Tionanenge!

Muli uli? こんにちは。マラウイでは雨季が終わりつつあり、首都リロングウェ等の標高の高い町では気温が低くなってきています。これから7、8月に向けてマラウイに冬がやってきます。ちなみに、私の任地カロンガは標高が低く、常夏なので若干涼しくはなりましたが、まだまだ暑いですが！今年の雨季は雨がしっかり降り、多くの地域で豊作となりましたが、一部地域では洪水が発生しました。4月頭には、首都から私の任地へ繋がる唯一の道の橋が洪水で落ちる、ということもありました。



大雨が降った翌日のマーケットの様子。水浸しですが、営業しています。

バオバブの樹の実

最近、アフリカ各地で見られるバオバブ(現地名ブユ)の樹が実をつけており、様々な所で売られています。バオバブの実には表面がビロード状で産毛が生えていて、皮は非常に硬く、石やアスファルトに打ち付けて割ります。割った中身は...根っこのような物がびっしり。その先に種、その周りに白い塊がついています。マラウイアンから教わった食べ方は、この白い部分をお湯に溶かして砂糖を入れて飲むそうです。味はかなり酸っぱく、ビタミン剤を溶かして飲んでいるようでした。

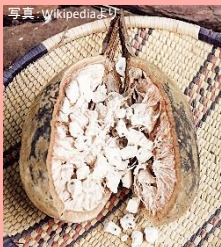


写真: Wikipediaより

一般的に「バオバブの樹」と聞いて想像する形はこれ(↑)ですが、これはマダガスカル固有種で、アフリカ本土でよく見られるのはこちら(↓)です。

バオバブの実内部

バオバブの実



雨季



乾季

この実にはビタミンC、カルシウムが豊富に含まれていて、種からは油も採取できます。バオバブジャムやオイル等がお土産として売られています。